

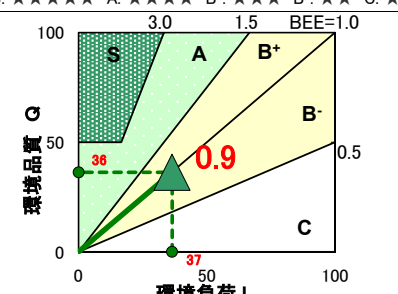
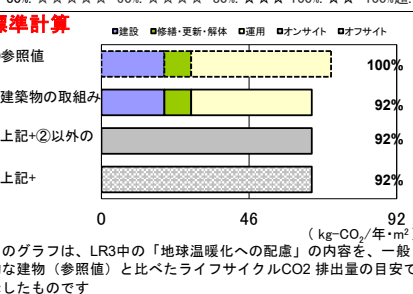
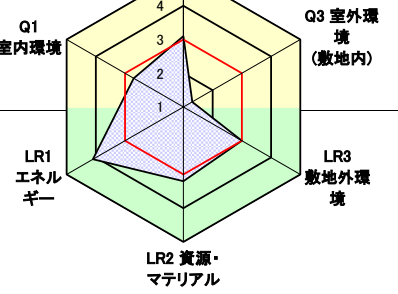
CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

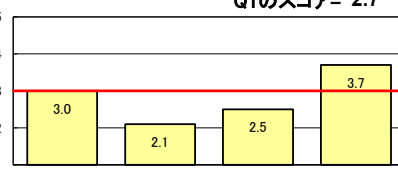
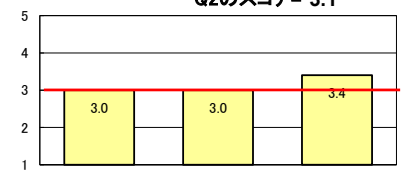
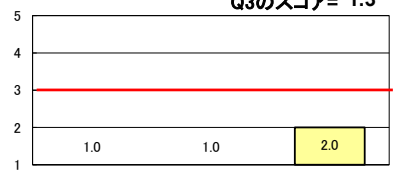
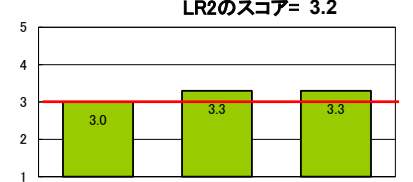
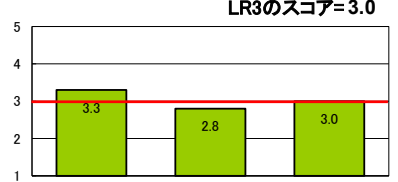
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)薬院2丁目賃貸マンション新築	階数	地上13階、地下0階
建設地	福岡県福岡市中央区薬院二丁目15	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	予定	評価の実施日	2024年4月22日
敷地面積	1,103 m ²	作成者	IAO竹田設計九州事務所村岡真雄
建築面積	515 m ²	確認日	2024年4月22日
延床面積	5,389 m ²	確認者	IAO竹田設計九州事務所村岡真雄



ください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9 ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 ① 参照値 100% ② 建築物の取組み 92% ③ 上記+②以外の 92% ④ 上記+ 92% 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.4		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.3 
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0 

3 設計上の配慮事項		
総合 室内空気環境の向上を図り、室内で快適に過ごせるように配慮した。		
その他 特になし		
Q1 室内環境 F★★★★の内装建材を使用し、室内空気環境に配慮した。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) ピロティを設け、雨宿り、待合に供する等、都市空間の活動上のアメニティ向上に貢献に努めた。
LR1 エネルギー 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げが容易に分別可能なことから、部材再利用の可能性向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される